

おばらOMIYAGEデザイン

キャッチフレーズ

地元食材コラボによる新土産で地域活性化！

キーワード

「食」の提供・活用

農商工連携

取組概要

- 豊田市小原地区（旧小原村）の異業種若手メンバーが「小原の誇れるお土産をつくろう」と、平成25年8月「おばらOMIYAGEデザイン」を設立
- 養鶏業、小売業、旅館業、デザイン業という異業種の若手事業主が連携し、地域資源（赤たまご、小原豆腐、四季桜の葉）のコラボや洗練したデザインにより、単独開発では生まれにくい新しい付加価値を創出
- 「おばらボンヌ」「おばらじゃんぬ」など、地域の文化・食材を活かしたオリジナルのお菓子を研究・開発

活動の効果

- デザイン性と高級感のある商品が地域全体のイメージアップや観光PRに貢献、取組が新たな独自性のある商品開発を誘発
- 商品の生産工程の一部は、地元の「おばあちゃん」に委託、内職として行う業務が仕事の創設と生きがいに寄与



おばらボンヌのPRチラシ



地域の食材（赤たまご、小原豆腐、四季桜の葉）



外箱組立てを委託

おばらOMIYAGEデザイン

愛知県豊田市平畑町東田722

TEL:0565-65-3611 FAX:0565-65-2837

② 愛知県 豊田市

やまざとさんちよく

あいちの山里産直コンソーシアム

キャッチフレーズ

山間部・人気直売所が連携して都市部でPR

キーワード

「食」の提供・活用

地産地消

ネットワーク

取組概要

- 産地直売所での食品購入、飲食、体験プログラムで貰えるスタンプの数により、地域の特産品が当たる「あいちの山里物語“食感・体感・感動”スタンプラリー」を実施
- 三河の食材を利用した食品の試食・販売、体験イベントを行う「産直フェア」を名古屋市近郊産地直売所で、毎年3～4回開催

活動の効果

- 運営主体も行政区も異なる産地直売所が年間を通じて連携し、企画から運営まで取り組むことで、産地直売所間でお互いの顔が見える関係が醸成
- スタンプラリー、産直フェア、各イベントへの参加者が増加することで、相乗的に売上げも増加
- 平成26年度からは、補助金等に頼らず事業を展開



ブルーベリージャム作り体験



産直フェアでのPR



産直フェア会場・あぐりん村

あいちの山里産直コンソーシアム (どんぐりの里いなぶ内)

愛知県豊田市武節町針原22-1

TEL:0565-82-3135 FAX:0565-82-3138

②③ 愛知県 豊田市

しんもりさとやまこう

新盛里山耕

キャッチフレーズ

「エコでおしゃれな 21世紀の里山暮らし」

キーワード

農林漁業体験

都市と農山村の交流

取組概要

- 里山の「耕し」により、失われつつある里山の価値を高め、活力を創造することで農村問題の解決を目的に、地域住民が中心となり平成20年に「新盛里山耕流塾」を設立（現在は、新盛里山耕と改名）
- 旬栽食講座（食を通じた里山での暮らし体験）、農業体験講座、そば打ち体験講座、炭焼き講座、石窯活用講座、山遊びなどの自然体験講座を中心とした都市住民との交流活動を展開

活動の効果

- 里山の整備も進み、集落内の耕作放棄地が減少
- 都市と農山村の交流がきっかけとなり、U、Iターンで定住する世帯も出てきている
- 新盛里山耕の活動の重要性に共感し、協力者も増加



旬栽食講座(サト芋の栽培)



石窯活用(ピザづくり)講座



農業体験講座

新盛里山耕

愛知県豊田市足助町宮ノ後26-2

TEL:0565-62-0601 FAX:0565-62-0606

つくでスマイル推進協議会

キャッチフレーズ

手軽に楽しむ「つくで高原」 ～ 小さなコミュニティービジネスへの挑戦 ～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

6次産業化

取組概要

- 小学校の統廃合を契機に、地域の疲弊、地域コミュニティーの減退を懸念し、平成26年6月に地域活動組織を発足
- 廃校を地域の交流拠点施設（田舎の駅）と捉え改修し、週末営業の農家レストラン「つくで田舎レストラン・すがもり」で、ジビエ料理や里山料理を提供
- 地区全体を里山博物館と見立てるため、交流拠点施設の誘客に活かす各種体験や産直の取組を計画

活動の効果

- 「地域住民がいきいき活躍する場の構築」「地域農畜産物、山野草などの提供、商品開発」「地域連携による情報発信の確立」など新たな動きも見られ、都市住民との交流が地域の活性化に寄与
- 農家レストランでは、年間約3,800人の利用者



田舎の駅(旧菅守小学校)



つくで田舎レストランのオープン



鹿肉ハンバーグ定食

大府市営農振興対策協議会

キャッチフレーズ

「健耕サポーター制度」（市民がボランティアで農作業をお手伝いし、営農をサポートすることで、耕作放棄地の増を防ぐ）

キーワード

ボランティア

農林漁業体験

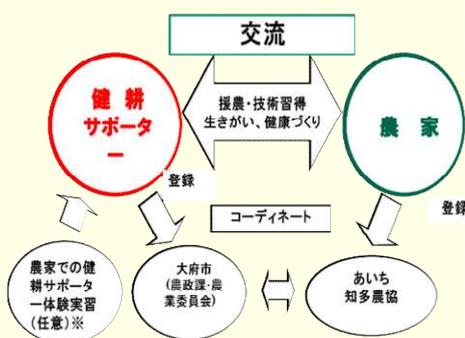
地産地消

取組概要

- 耕作放棄地の解消と市民の健康に寄与するため、市民と行政のパートナーシップによる「健耕サポーター制度」を平成22年度より開始
- 市の広報誌で受け入れ農家やサポーターの募集、受け入れ農家の希望と健耕サポーターのマッチング、交流会などを実施

活動の効果

- 平成26年度は、受入農家数が約28件、サポーター活動回数が年間延べ571回の実績、サポーターが市の農業の担い手の一助になり、市民の健康に寄与
- サポーターの中から、新規就農者となり認定農業者に成長する等、農業の後継者育成にも寄与



「健耕サポーター制度」の仕組み図



ブドウの袋掛け作業



健耕サポーター養成講座

大府市営農振興対策協議会（大府市役所農政課内）

愛知県大府市中央町五丁目70

TEL:0562-45-6225 FAX:0562-47-9996

株式会社 げんきの郷^{さと}

キャッチフレーズ

地域農業の元気を目指す「げんきの郷」

キーワード

伝統・継承

農林漁業体験

地産地消

取組概要

- 平成12年3月、農業の復興を賭けたJAの一大事業として、地域全体を舞台とした「JAあぐりタウンげんきの郷」を設立
- 生産者の協力、生産者出荷組織の自主活動（直売イベント等）により、多様な農畜産物を地域に提供する、質の高い顔の見える直売事業を展開
- 利用者が農を知る機会、生産者との交流活動として、米づくり体験、野菜の収穫体験など「農と食のイベント」を開催

活動の効果

- 「地産地消」の発信基地として、多くの農畜産物を消費者へ提供
- 農家の顔が見える農と食体験イベント、交流イベントの開催により農業への理解が深まる機会を創造
- 体験・交流イベント、施設来場者数の増加により、農家も利用者の声を聴き、創意工夫を重ねることで、誇りある農業へと意識改革



地元農産物いっぱいの店内



大納涼まつり／知多半島の盆踊り



農と食の体験イベントで消費者と交流

株式会社 げんきの郷

愛知県大府市吉田町正右工門新田1-1

TEL:0562-45-4080 FAX:0562-45-4085